

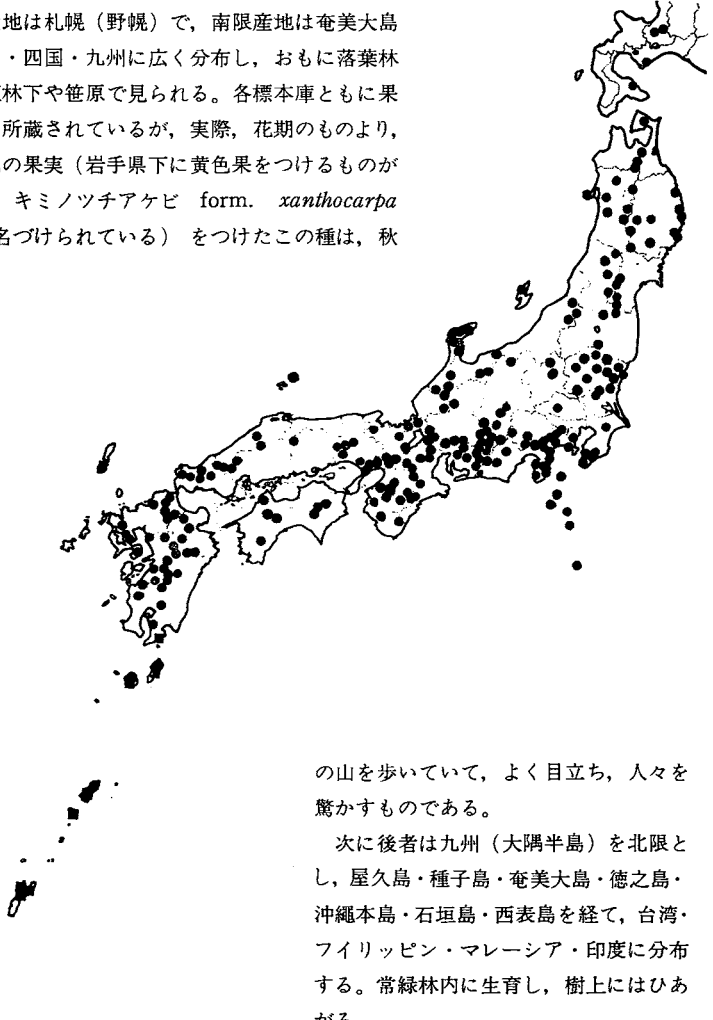
日本産蘭科植物分布図 (六十四)

正宗徹敬・里見信生

MASAMUNE, G. & N. SATOMI : Distribution Maps of
Orchidaceae in Japan (64)

ツチアケビ *Galeola septentrionalis* REICHB. fil. ●とタカツラン(ツルツチアケビ)
G. altissima REICHB. fil. ■の分布を図示した。

前者の北限産地は札幌(野幌)で、南限産地は奄美大島であるが、本州・四国・九州に広く分布し、おもに落葉林下、時にスギ植林下や笹原で見られる。各標本庫ともに果実の標本が多く所蔵されているが、実際、花期のものより、バナナ状の赤色の果実(岩手県下に黄色果をつけるものが知られていて、キミノツチアケビ form. *xanthocarpa* SASAMURA と名づけられている)をつけたこの種は、秋



の山を歩いていて、よく目立ち、人々を驚かすものである。

次に後者は九州(大隅半島)を北限とし、屋久島・種子島・奄美大島・徳之島・沖縄本島・石垣島・西表島を経て、台湾・フィリッピン・マレーシア・印度に分布する。常緑林内に生育し、樹上にはひあがる。